

最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出は4ヶ月連続で前年比マイナス～

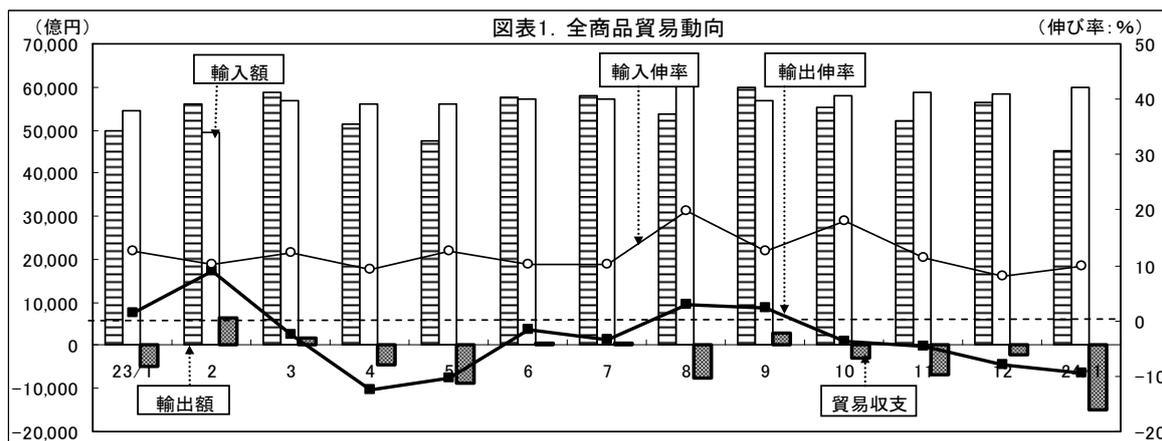
日本機械輸出組合 2012. 3. 15.

平成 24 年 1 月の機械輸出額は、2 兆 9,838 億円、対前年同月比 6.6 %減と 4 ヶ月連続のマイナスとなった。これは、①円高による円建輸出額の減少とアジアの春節による営業日の減少、②EU、中国向けが 2 ヶ月連続で大幅減となったこと、③機械輸出額の 1/3 を占める自動車の低迷と、産業機械、電子デバイス等の大幅減となったことが主因である。

2 月については、円高により 4.2%の円建減少要因があるものの、営業日が前年に比べ 2 日多いこと、中華圏の春節が 1 月に早まったこと、実質的伸び率が 1.8%増であることを考慮すると、11%程度の増加が予想される。しかしながら、2 月の上中旬の全商品輸出額は 7.7%減となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出減、輸入増で、過去最大の 1 兆 4,769 億円～

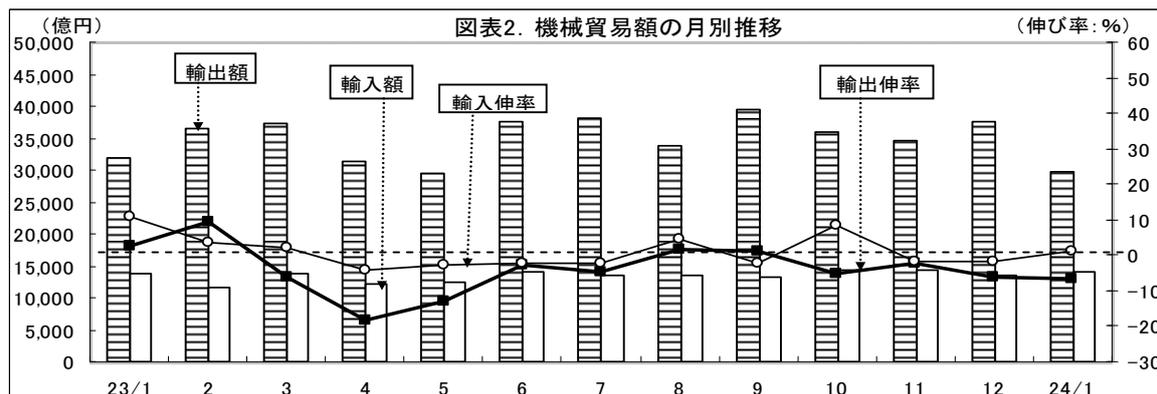
- 平成 24 年 1 月の全商品輸出額は 4 兆 5,105 億円、前年同月比(以下同じ)9.3%減とマイナス幅を拡大し 4 ヶ月連続でマイナスとなった(12 月 8.0%減)。これは、全輸出額の約 10%の化学製品(17.5%減)、約 17%の電気機器(10.0%減)、約 13%の鉄鋼等原料別製品(10.9%減)がマイナスとなったためである。
- 輸入額は 5 兆 9,873 億円、9.9%増と 2 年 1 ヶ月連続で増加となった(12 月 8.2%増)。これは、全輸入額の約 35%を占める原油、石油、ガス等鉱物性燃料(23.6%増)が引き続き高水準の伸びを続けているほか、8%の穀物、肉類等食料品(13.3%増)、3%の輸送用機器(42.3%増)が増加したためである。
- この結果、1 月の貿易収支は、1 兆 4,769 億円とリーマンショック後の平成 21 年 1 月(9,569 億円)の赤字を大幅に上回り、4 ヶ月連続の貿易赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は 4 ヶ月連続マイナス、輸入は 3 ヶ月ぶりプラス～

- 全商品輸出額の約 66%を占める 1 月の機械輸出額は 2 兆 9,838 億円、6.6%減とマイナス幅をやや拡大し、4 ヶ月連続でマイナスとなった(12 月 6.2%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成 20 年 1 月の 68%と前月から 5 ポイント後退した(12 月 73%)。
- 一方、全商品輸入額の 23%を占める機械輸入額は、1 兆 3,963 億円、1.0%増と 3 ヶ月ぶりのプラスとなった(12 月 1.9%減)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の 81.3%と前月より 1.2 ポイント改善した(12 月 80.1%)。

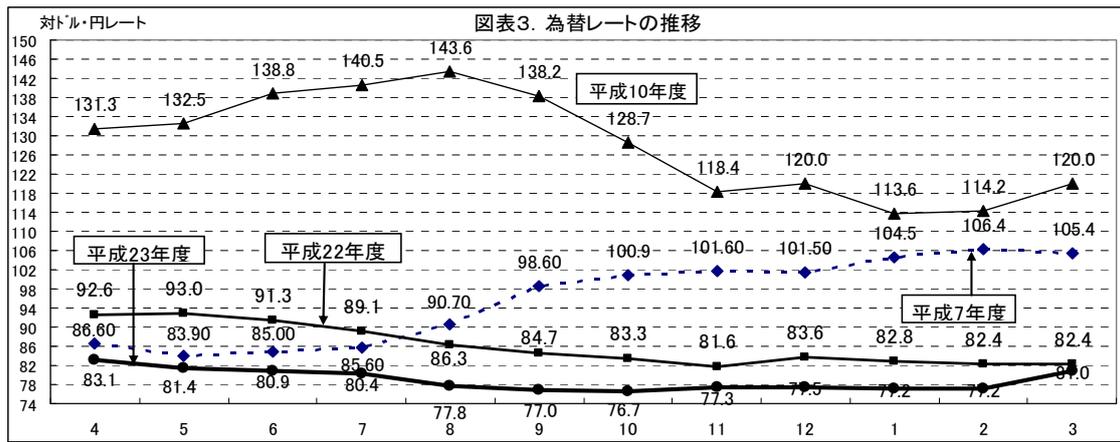


(2) 為替動向・営業日～1月は9.6%の為替・営業日減少要因、実質伸び率は3%増へ～

1)平成24年1月は1ドル=77.2円とほぼ前月横ばいとなったが、前年が円安で推移したため、前年比6.8%の円高となり、また、対ユーロ=99.8円では8.4%と円高が進み、合計4.2%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年度と同じだが、中華圏(中国、台湾、香港、シンガ)が春節で4日少く、全地域で4.2%減となり、合計8.4%の減少要因となる。このため、1月の機械輸出は6.6%減であったが、為替・営業日要因を除く実質伸び率は1.8%増と再びプラスとなった(12月1.8%減)。

2)平成24年2月は1ドル=77.2円とほぼ前月横ばいとなったが、前年比6.3%の円高となり、また、対ユーロ=100.8円では10.4%と円高が進み、合計4.2%の為替減少要因となった。一方、営業日は前年に比べ2日多く、また中華圏は更に4日多く、15.3%増となり、合計11.0%の増加要因となる。

3)3月は、対ドルが現状の81円に円安が進むとすれば1.7%の円高となり、また、対ユーロが現状の108円とすれば4.8%の円高となり、合わせると1.3%の円高減少要因に止まる。営業日は前年より1日少ないので4.5%の減少要因となり、合計5.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～中国、EU 向けとも2ヶ月連続2ケタ減、北米向け3ヶ月連続プラス～

1)機械輸出が減少した地域的要因は、①機械輸出額の15%を占める中国向けが、全体の17%を占める半導体製造装置等産業機械(32.9%減)、17%の自動車(14.9%減)、民生用電子部品(25.1%減)、建設機械(60.6%減)等が大幅に減少し、20.2%減と前月を上回る大きなマイナス幅となったこと、②約12%を占めるEU向けでは、全体の30%を占める自動車(20.5%減)、17%の産業機械(20.0%減)等の減少が響き12.8%減と大幅な減少となったこと、③27%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、台湾、シンガポールが2ケタの大幅減となり、業種では、電子デバイス、韓台向け自動車、産業機械等が減少し、6.1%減となったこと、④約23%を占めるその他地域向けでは、ロシア東欧が9ヶ月ぶりに、アフリカが2ヶ月ぶりでマイナスとなり、機種では、全体の26%を占める船舶(16.0%減)、重電気機械(13.4%減)の減少が響き1.6%減となったことによる。

2)他方、約22%を占める北米向けは、輸出額の約50%を占める自動車(10.0%増)が3ヶ月連続でプラスとなったほか、建設機械(29.8%増)、工作機械(55.7%増)、重電気機械(25.7%増)、デジタル・ビデオ(24.6%増)等が寄与して3.4%増と3ヶ月連続のプラスとなった。

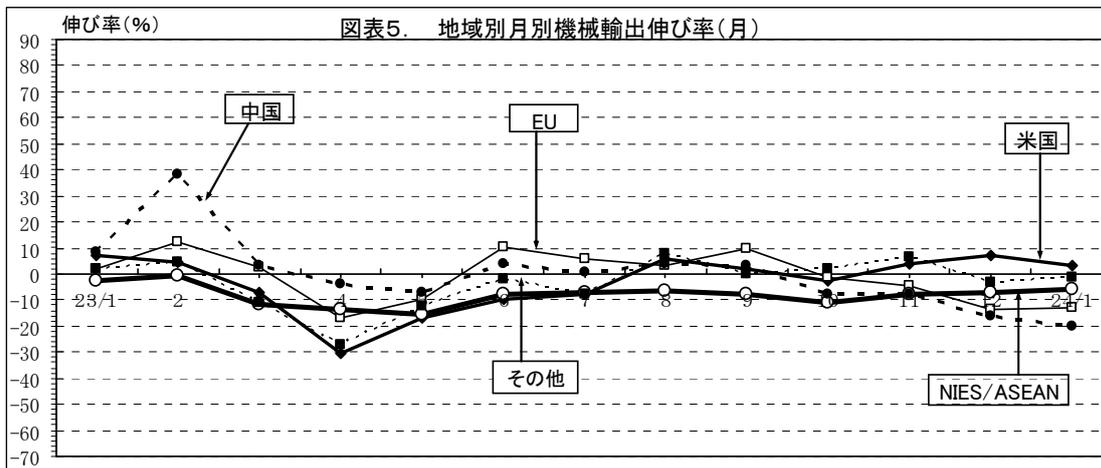
3)リーマンショック前の平成20年1月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域は皆無で、90中国が90%台、NIES/ASEANが70%台、その他の地域は低い水準(40～60%台)に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/11			2011/12			2012/1			対08年1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	34,536	▲2.4	100	37,496	▲6.2	100	29,838	▲6.6	100	0.68
北米	7,703	3.6	22.3	8,857	7.4	23.6	6,600	3.4	22.1	0.66
EU	4,420	▲4.5	12.8	4,336	▲13.4	11.6	3,674	▲12.8	12.3	0.49
NIES/ASEAN	9,143	▲7.9	26.5	10,340	▲7.3	27.6	8,142	▲6.1	27.3	0.75
中国	6,223	▲8.0	18.0	6,766	▲16.5	18.0	4,557	▲20.2	15.3	0.91
その他	7,048	6.3	20.4	7,197	▲3.5	19.2	6,866	▲1.6	23.0	0.67

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/10		2011/11		2011/12		2012/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,596	▲10.5	1,643	▲5.4	1,994	1.9	1,605	▲0.8
台湾	1,641	▲18.9	1,561	▲15.4	1,631	▲19.7	1,129	▲30.8
香港	1,470	▲19.0	1,312	▲16.4	1,507	▲20.4	1,177	▲8.5
タイ	1,483	▲10.9	1,204	▲21.8	1,444	▲14.1	1,349	▲0.5
シンガポール	781	▲22.1	907	▲12.6	980	5.5	721	▲19.7
インドネシア	837	7.5	942	39.0	996	15.5	769	42.5
マレーシア	736	▲8.7	706	▲5.1	735	▲22.9	613	▲8.4
フィリピン	586	16.4	485	▲1.7	586	18.4	471	6.9
ベトナム	303	9.5	294	20.0	375	18.7	221	9.4
その他地域								
中南米	2,333	▲7.3	2,449	13.5	2,018	▲20.8	2,476	▲1.5
中近東	1,520	17.7	1,191	▲5.8	1,379	▲13.0	1,216	10.6
大洋州	1,023	▲12.6	1,065	4.7	1,227	27.1	1,119	3.1
ロシア東欧等	1,446	21.5	1,079	13.6	1,034	1.3	913	▲16.1
アフリカ	567	▲21.5	639	▲8.2	814	18.8	599	▲21.9
インド	444	2.5	446	5.7	551	15.8	380	27.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～工作機械、建設機械の2業種を除く、17業種がマイナスへ～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが17業種で、前月より1業種増加した。全体の33%を占め機械輸出を下支えしていた自動車(2ヶ月連続でマイナスとなったほか、産業機械(14.1%減、7ヶ月連続)、電子デバイス(15.6%減、13ヶ月連続)、軽電気機械(14.2%増)、民生用電子機械(12.0%減、11ヶ月連続)、通信機械(15.1%減、13ヶ月連続)、電子計算機(15.3%減、19ヶ月連続)、繊維機械(19.4%減、6ヶ月連続)、農業機械(18.0%減、5ヶ月連続)等が二ケタの減少となった。他方、工作機械(30.8%増、2年連続)、建設機械(13.3%増)の2業種のみが増加となった。
- この結果、リーマンショック前の輸出額と同水準なのが船舶、医療機械の2業種で、民生用電子機械、通信機械、産業車両、農業機械は40～50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2011/11			2011/12			2012/1			対08/1比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,525	0.0	33.4	自動車	12,362	▲4.9	33.0	自動車	9,754	▲0.7	32.7	0.61
産業機械	5,807	▲7.9	16.8	産業機械	6,822	▲8.8	18.2	産業機械	4,906	▲14.1	16.4	0.74
電子デバイス	2,544	▲15.2	7.4	電子デバイス	2,917	▲13.0	7.8	電子デバイス	2,300	▲15.6	7.7	0.62
船舶	2,018	21.9	5.8	船舶	1,414	▲10.3	3.8	船舶	2,470	▲8.3	8.3	1.00
軽電気機械	1,849	▲1.1	5.4	軽電気機械	2,078	▲4.5	5.5	軽電気機械	1,419	▲14.2	4.8	0.65
民生用電子機械	1,306	▲30.9	3.8	民生用電子機械	1,443	▲22.8	3.8	民生用電子機械	1,272	▲12.0	4.3	0.48
重電気機械	1,724	▲1.4	5.0	重電気機械	1,857	▲4.5	5.0	重電気機械	1,350	▲6.6	4.5	0.79
軽機械	1,232	4.8	3.6	軽機械	1,460	5.5	3.9	軽機械	1,016	▲3.7	3.4	0.68
光学機械	1,293	16.4	3.7	光学機械	1,303	▲0.9	3.5	光学機械	987	▲5.9	3.3	0.85
建設機械	1,122	12.1	3.2	建設機械	1,354	9.0	3.6	建設機械	1,046	13.3	3.5	0.92
工作機械	833	16.2	2.4	工作機械	961	22.1	2.6	工作機械	657	30.8	2.2	0.95
通信機械	430	▲18.7	1.2	通信機械	467	▲20.1	1.2	通信機械	391	▲15.1	1.3	0.49
電子計算機	414	▲16.6	1.2	電子計算機	452	▲16.9	1.2	電子計算機	346	▲15.3	1.2	0.38
ベアリング	364	1.3	1.1	ベアリング	388	▲4.8	1.0	ベアリング	285	▲13.3	1.0	0.93
陸用内燃機関	365	0.9	1.1	陸用内燃機関	423	▲1.8	1.1	陸用内燃機関	295	▲10.1	1.0	0.80
医療機械	314	▲2.6	0.9	医療機械	337	▲9.8	0.9	医療機械	224	▲14.6	0.8	1.00
繊維機械	167	▲13.4	0.5	繊維機械	174	▲22.3	0.5	繊維機械	118	▲19.4	0.4	0.62
農業機械	127	▲13.4	0.4	農業機械	158	▲8.0	0.4	農業機械	117	▲18.0	0.4	0.55
産業車両	140	8.2	0.4	産業車両	136	▲2.8	0.4	産業車両	99	▲2.8	0.3	0.52
19業種合計	33,574		97.2	19業種合計	36,506		97.4	19業種合計	29,052		97.4	0.68

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジタルカメラ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

(5) 機種別動向～工作機械、金属加工機等は好調、半導体製造装置、電子応用装置等は減少～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、①北米、ASEAN、中国等向け**工作機械(30.8%増)**、②その他地域、中国、ASEAN等向け**金属加工機(21.0%増)**、③ASEAN、その他地域、北米等向け**貨物自動車(20.4%増)**、④ASEAN、中国、北米等向け**産業用ロボット(10.5%増)**、⑤北米、ASEAN、その他地域、EU等向け**建設機械(13.3%増)**等となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、半導体製造装置(31.5%減)、電子応用装置(28.1%減)、原動力機械(27.5%減)、録画・再生機器(21.9%減)、繊維機械(19.4%減)、農業機械(18.0%減)、時計(16.7%)、電子デバイス(15.6%減)、電子計算機(15.3%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/11			2011/12			2012/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機	349	50.3	工作機械	961	22.1	工作機械	657	30.8
貨物自動車	904	33.8	金属加工機	366	18.5	金属加工機	214	21.0
船舶	2018	21.9	貨物自動車	878	16.6	貨物自動車	650	20.4
光学機械	1,293	16.4	産業用ロボット	112	16.0	産業用ロボット	83	10.5
工作機械	833	16.2	分析・試験・検査機	817	11.9	建設機械	1,046	13.3
産業用ロボット	98	13.4	建設機械	1,354	9.0	機種合計	2,650	8.9%
建設機械	1,122	12.1	時計	111	8.2			
機種合計	6,617	19.2%	風水力機械	794	7.0			
			機種合計	5,393	14.4%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/11			2011/12			2012/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
デジカメ	362	▲ 52.7	デジカメ	416	▲ 32.6	半導体製造装置	1,090	▲ 31.5
ラジオ	8	▲ 35.5	TV	76	▲ 25.3	電子応用装置	25	▲ 28.1
半導体製造装置	1,007	▲ 28.8	繊維機械	174	▲ 22.3	原動力機械	297	▲ 27.5
録画・再生機器	14	▲ 28.5	半導体製造装置	1,397	▲ 20.2	録画・再生機器	11	▲ 21.9
磁気カード・ディスク	166	▲ 17.6	民生用電子部品	713	▲ 19.7	繊維機械	118	▲ 19.4
電子計算機	414	▲ 16.6	電子計算機	452	▲ 16.9	農業機械	117	▲ 18.0
民生用電子部品	660	▲ 16.3	運搬機	218	▲ 14.2	時計	58	▲ 16.7
原動力機械	381	▲ 15.7	電子デバイス	2,917	▲ 13.0	電子デバイス	2,330	▲ 15.6
電子デバイス	2,544	▲ 15.2	ラジオ	13	▲ 12.9	電子計算機	346	▲ 15.3
繊維機械	167	▲ 13.4	船舶	1,414	▲ 10.3	医療機械	224	▲ 14.6
機種合計	5,723	16.6%	機種合計	6,363	18.4%	機種合計	4,616	15.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯、乗用車の大幅増続く、電子デバイス、TVは大幅減～

- 1) 1月の機械輸入伸び率は1.0%増と3ヶ月ぶりにプラスとなったが、その要因は、携帯電話(96.7%増、30ヶ月連続)、乗用車(31.9%増、6ヶ月連続)が2ケタの大幅増を続けていること、自動車部品(約9%増)が伸び率を拡大させたこと、白物家電(7.0%増)がマイナスからプラスへ転じたことなどによる。

一方、二大輸入機種である電子計算機(16.5%減)、電子デバイス(18.9%減)は大幅減が続いている他、TV(52.2%減)、民生用電子部品(10.4%減)も2ケタの大幅な落ち込みとなった。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、TV、医療機器、時計、エアコン、ラジオ、録画・再生機器となっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(2.0%増)、北米(16.0%増)、ASEAN(6.4%減)、EU(7.9%増)、韓国・台湾(10.6%減)、その他(12.0%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/11				2011/12				2012/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,585	▲ 1.0	11.0	電子計算機	1,626	▲ 5.0	12.1	電子計算機	1,496	▲ 16.5	10.7
電子デバイス	1,445	▲ 16.2	10.0	電子デバイス	1,382	▲ 11.0	10.3	電子デバイス	1,367	▲ 18.9	9.8
携帯電話	848	109.7	5.9	携帯電話	875	100.9	6.5	携帯電話	861	96.7	6.2
乗用車	773	31.1	5.4	乗用車	675	15.7	5.0	自動車部品	696	8.9	5.0
自動車部品	725	9.4	5.0	自動車部品	625	3.5	4.7	重電気機械	625	▲ 5.9	4.5
重電気機械	642	▲ 4.3	4.4	重電気機械	573	▲ 6.0	4.3	乗用車	616	31.9	4.4
白物家電	538	▲ 4.8	3.7	白物家電	474	▲ 5.3	3.5	航空機	528	34.9	3.8
医療機器	470	3.0	3.3	医療機器	423	▲ 1.9	3.2	白物家電	512	7.0	3.7
TV	447	▲ 47.4	3.1	TV	379	▲ 46.6	2.8	医療機器	429	▲ 4.9	3.1
分析・試験・検査機	360	21.0	2.5	民生用電子部品	290	▲ 12.2	2.2	光学機械	337	▲ 6.9	2.4
民生用電子部品	343	▲ 1.2	2.4	光学機械	279	▲ 16.2	2.1	民生用電子部品	301	▲ 10.4	2.2
光学機械	314	▲ 17.9	2.2	分析・試験・検査機	265	3.8	2.0	TV	285	▲ 52.2	2.0
12機種合計	8,490		58.8	12機種合計	7,866		58.6	12機種合計	8,053		57.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械